

基準ステージゲート審査 基本方針

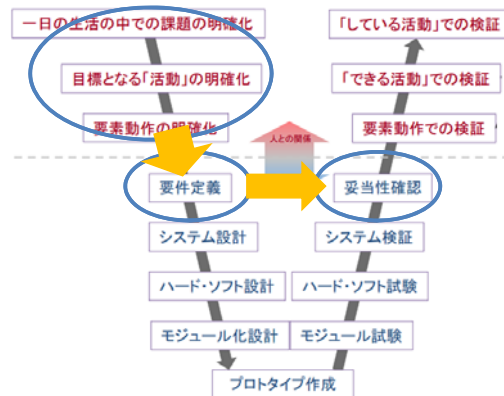
(独)産業技術総合研究所
松本吉央

基本的な考え方(1)

- 審査のコンセプト:「書面重視」と「分析的評価」
- 書面審査と実機審査の位置づけ
 - まず書面で開発コンセプト(「実生活での活用法」、「有用性」、「安全」)およびその達成度合いを確認する。さらに実機を見て確認する。
 - 期間内に実用的な機器が完成できるかの見込を確認する。
- 評価の観点は次の3つ:
 - 1. 重点分野の定義を満たしているかどうか。
 - 2. 役に立つという観点から、「実生活での活用法」、「有用性」、「安全」の評価を基本とする。
 - 3. 要素的に新しい技術、試みについては、完成度
でなくても 可能性を評価する。

基本的な考え方(1)

- 書面審査と実機審査の位置づけ
 - まず書面で開発コンセプト(「実生活での活用法」から「有用性」、「安全」の要件定義まで)およびその達成度合いを確認する。さらに実機で確認する。
 - いま達成できているかだけでなく、期間内に実用的な機器が完成できるかどうかの見込を確認する。



独立行政法人 産業技術総合研究所

基本的な考え方(2)

- ステージゲート審査シート：
 - 評価項目 に、必須項目
加点項目
 - 必須項目：
 - 満たしていない場合は、ステージゲートを通過できない。
 - どの項目が(今年度の)必須項目かは明示する。
 - 加点項目：
 - 分野の目的に資するものであれば加点の対象とする。
 - 事前に追加で を提出すること。
 - 個別に情報を求めることがある。

基本的な考え方(3)

- 採点：
 - 項目ごとの点数 = $A \times B \times C$
 - A: 項目ごとの配点(非公開)
 - B: 達成度、もしくは達成見込み(自己宣言)
 - C: 審査員の採点(0~1)(書面と実機の相違がある場合は0)
 - 現時点で達成できていなくても、計画通りに進んでおり、達成予定時期が示されている場合は、減点の対象ではない
 - 開発コンセプトシート、安全コンセプトシート、リスクアセスメントシートの も採点対象とする
- ステージゲート通過の条件
 - 何事業者が通るかはまだ不明(来年度予算に依存)
 - まず必須項目 の 項目で高得点なものから順位付け
 - その後に加算項目(付加機能)を含めて順位付け

日程, 場所

■ ステージゲート審査会(実機審査)

日時: 2月1(土)、2日(日)で各事業者へ割り当てられた時間

場所: 横浜市総合リハビリテーションセンター

※東京圏内において変更の可能性あり。

■ ステージゲート審査会()

日時: 2月24日(月)、27日(木)で各事業者30分間

場所: オフィス東京(中間審査会と同じ)

■ 対象

平成25年度ロボット介護機器開発・導入促進事業採択事業者

審査実施方法(書面審査)

- 「開発コンセプトシート」「安全コンセプトシート」「リスクアセスメントシート」「審査シート」は12月16日に配布する。
- 審査対象者は、上記シート一式および「説明資料(PowerPoint)」を作成し、1月15日(水)までに提出すること。
- シートの記載方法は別途配布する「審査シート記載要領」に従うこと。また、「説明資料」の作成には別途配布する「説明資料ひな形」を利用すること。
- 審査会では、各自PC(ディスプレイ出力 ミニD-sub15Pinに対応)を持ち込み、「説明資料」を用いて説明すること。また、12分の説明、10分間の質疑の時間配分を基本とすること。
- 審査当日は、割り当ての時間帯の15分前までに会場控室へ到着すること。

審査実施方法(実機審査)

- 審査対象者は、開発中のロボット介護機器の試作品を審査会場に持ち込み、開発コンセプトに則って現状で開発できたところまでのデモンストレーションを行う。どうしても持ち込めない場合は、別途相談。
- デモンストレーション内容およびその準備方法は別途配布する「実機審査デモ要領」に従うこと。
- 実機審査には、基準策定・評価のために基準策定・評価事業者との守秘義務契約を結んだ医学、工学の専門家が参加することがある。
- 実機審査の詳細については後ほど

ロボット介護機器の開発プロセス(案)

